

岩村通俊 いわむら たけし 官僚。天保十一年六月十日土佐國生れ。大正四年一月二十日歿（八四〇―一九二五）。幼名猪三郎、通稱瀨共衛。號素水、貫堂。土佐勤王黨に加入し、戊辰戦では重監として各地を轉戦。明治二年箱館府權判事、五年開拓大判官、爾後佐賀縣權令、山口裁判所所長、鹿兒島・沖縄各縣令、會計検査院院長等歴任。十九年北海道廳初代長官、二十一年農商務相。元老院議員、貴族院議員の務めた。林有造、岩村高俊の兄。岩村透の伯父。

著書『今體英雄文抄・第一集』（合著・橋岡隆存編、明治十年十一月大阪・赤志忠雅堂）、『貫堂存稿』（岩村八作編、再版・昭和九年六月十五日岩村一木重刻）等。江崎政忠著『岩村通俊男の片鱗』（昭和八年十月、無行記）がある。

